

小学6年

国語

ほ先の動きと点画のつながり（毛筆）

画から画へ、ほ先の動きをつないで書く

自分で考えて書きましょう。わからないときは、QRコードで動画の場面を見よう。

- 「川」の一画め(左の画)を書き終えたほ先は、次にどこへ向かいますか。ア(まん中の画の下のはし)、イ(右の画の上のはし)、ウ(まん中の画の上のはし)からえらびましょう。



動画で見る
場面 2
「画から画へ(「三」)」

- 一つの画を書き終えてから、次の画を書き始めるまでのあいだ、ほ先はどうしていますか。



動画で見る
場面 2
「画から画へ(「三」)」

- ふだん字を書くときに近い条件で、点画や字のつながりを意識して書くときに使う筆記具を、二つあげましょう。



動画で見る
場面 5
「字から字へ」

ほ先の動きと点画のつながり（毛筆）

画から画へ、ほ先の動きをつないで書く

- ① 「川」の一画め(左の画)を書き終えた ほ先は、次に どこへ 向かいますか。ア(まん中の 画の 下のはし)、イ(右の 画の 上のはし)、ウ(まん中の 画の 上のはし)から えらびましょう。

ヒント 「川」の書きじゅんと、画を書く向きを思い出そう。

答え ウです。「川」の二画めは まん中の 画で、上から 下へ 書きます。だから ほ先は、紙からはなれて、まん中の 画の 上のはし(書き始め)へ 動きます。

- ② 一つの画を書き終えてから、次の画を書き始めるまでのあいだ、ほ先はどうしていますか。

ヒント 動画の赤い点線は、何を表していたかな。

答え 次の画の書き始めへ 動いています。紙にあとは残りませんが、ほ先の動きは続いています。この動きを意識して書くと、点画がつながります(点画のつながり)。

- ③ ふだん字を書くときに近い条件で、点画や字のつながりを意識して書くときに使う筆記具を、二つあげましょう。

ヒント 「字から字へ」の場面に出てきた、細い筆記具です。

答え 小筆と筆ペンです。大きな筆で学んだ ほ先の動きを、ふだんの字に近い条件でも意識して書きます。